

第 4 回 館山市議会定例会会議録

(第 5 号)

1 平成3年12月24日（火曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番 秋山 光章	2 番 増田 基彦
3 番 島田 保	4 番 斉藤 実
5 番 宮沢 治海	6 番 植木 馨
7 番 鈴木 順子	8 番 永井 龍平
9 番 脇田 安保	11 番 山崎 雅己
12 番 岩村 勝弘	13 番 榎本 春光
14 番 小宮 利夫	15 番 山中金治郎
16 番 鈴木 勝美	17 番 鈴木 忠夫
18 番 日下 君敏	19 番 川名 正二
21 番 神田 守隆	22 番 福原 勤
23 番 石井 昌治	24 番 石井 輝久
25 番 流山源次郎	26 番 辻田 実
27 番 横溝 功	28 番 飯田 義男

1 欠席議員 2名

10 番 庄司二三男	20 番 生稻 陞
------------	-----------

1 出席説明員

市 長 庄司 厚	助 役 小幡 清之
収 入 役 渡辺 弘	市長公室長 佐藤 輝雄
総務部長 二通 英雄	民生部長 佐藤 澄雄
経済部長 脇田 元始	建設部長 伊東 衛
水道課長 鈴木 信一	教育委員会 山田 教和
教育委員会 福原 修	選挙管理委員会 加藤 利
選挙管理委員会 伊丹 三男	監査委員 鈴木 重司
事務局書記長	

監 査 局 長 島田 啓夫

農 業 委 員 会 長 小倉 孝

1 出席事務局職員

事務局 長 兵藤 恭一

事務局 長 補 佐 土橋 康彦

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第5号）

平成3年12月24日午前10時開議

- 日程第1 { 議案第46号 館山市地域福祉基金条例の制定について
議案第47号 字の区域及び名称の変更について
議案第48号 字の区域及び名称の変更について
議案第50号 平成3年度館山市一般会計補正予算（第5号）
- 日程第2 議案第51号 平成3年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第3 { 議案第49号 南房総広域水道企業団規約の変更に関する協議について
議案第52号 平成3年度館山市水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案第53号 平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第4 継続審査について
- 日程第5 { 議案第54号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第55号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第56号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
議案第57号 館山市企業職員の給与の種類及び基準を定める

条例の一部を改正する条例の制定について

議案第58号 平成3年度館山市一般会計補正予算（第6号）

議案第59号 平成3年度館山市ユースホステル特別会計補正
予算（第1号）

議案第60号 平成3年度館山市水道事業特別会計補正予算
（第3号）

議案第61号 平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予
算（第3号）

日程第6 議案第62号 館山市教育委員会委員の任命について

日程第7 発議案第10号 法務局職員の増員に関する意見書について

日程第8 発議案第11号 白内障人工水晶体（眼内レンズ）の健康保険
適用に関する意見書について

開 議 午前10時16分

◎議長（福原 勤君） 本日の出席議員数26名、これより第4回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（福原 勤君） 議案を配付いたします。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第1、議案第46号乃至議案第48号及び議案第50号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（福原 勤君） ただいま議題となりました各議案は12月18日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長日下君敏君。御登壇願います。

(総務委員会委員長日下君敏君登壇)

◎総務委員会委員長(日下君敏君) ただいま議題になりました議案第46号乃至議案第48号並びに議案第50号にかかわる総務委員会における審査の経過及び結果について御報告申し上げます。

去る12月18日開会の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案について、19日委員会を招集し、慎重に審査をいたしました。

以下、その質疑応答等、主な事項について申し上げます。

まず、議案第46号館山市地域福祉基金条例の制定についてであります。本基金の活用方法については、その運用益を充てていくとの説明が既になされておりますけれども、さらに市においてその運用益に上乘せして助成する考えはないかただしましたところ、社会福祉協議会において地域ぐるみ福祉ネットワーク事業に取り組んでおり、それに対し市が助成をしている経過もあるので、現在のところ上乘せしていく考えはないとの説明がありました。

次に、高齢者の保健福祉とは具体的にどのようなものと考えておるのか説明を求めましたところ、総括的には考えているけれども、具体的な内容については、これから社会福祉協議会等の活動状況ともならみ合わせ、協議しながら進めていきたいとの説明がありましたが、さらに社会福祉協議会を通じて助成することはどうかとの質疑があり、市より、今回のものは民間活動の活発化を図るもので、民間の活動については行政の補完的な事業として社会福祉協議会が中心になって行っているので、それらの意向を取り入れて協議し、対処をするものであるとの考えが示されました。

次に、昨年設置されました館山市福祉基金と今回提案されております地域福祉基金の差異等について質疑がありました。館山市福祉基金は、本格的な高齢化社会に備えて、地域における福祉活動の推進、快適な生活環境等の形成を図るための経費として設置されたもので、行政が実施する福祉施設について基金を取り崩していくものである。一方、今回提案されております基金

は、地域主導における民間福祉活動の活発化を図るために措置されたもので、基金の運用益により民間福祉活動を助成していくと、その両者の差異を示す説明がありました。

なお、公金に対して全国で幾つかの不正が摘発されているので、基金運用の適正化を図るという観点から質問がありまして、基金の管理方法について詳細な質疑がなされました。

次に、討論を行い、基金の目的に沿って有効に活用するため、監督する機関なり福祉団体の意見を聞いて運用すること。また、市は独居老人等の実態を把握するとともに、社会福祉協議会を通じて運用益を交付するのではなく、各ボランティア活動等に対して直接的に助成されることを要望して、本議案に賛成するとの意見がありました。

次に、議案第50号平成3年度館山市一般会計補正予算（第5号）であります。まず、歳入において、市民税の個人分1億7,299万3,000円の補正について説明を求めましたところ、今回の補正にかかわる調定増のうち1億3,500万円が譲渡所得の関係、残りが一般の給与所得の関係である。譲渡所得については、予算編成時、登記の申請をもとに推計するけれども、本年度は前年度の25%減で積算したところ、現実には70%を超える増額になった。その原因は、市外からの転入者が10人で約6,000万円あったこと及び1件1件の額が大きかったことによるとの説明がありました。

なお、歳入に関連しまして、県の施設に対する固定資産税の負担について、各市町村への配分に誤りがあったということを知ることが、どのように把握しているか説明を求めましたところ、国有資産等所在市町村交付金について自治法に基づき5年間の交付漏れについて交付するということで文書が来ている。5年間分の1,037万5,000円、来年度の見直しによる増加分209万9,300円が来年度交付されとの説明がありました。

次に、歳出中、農林水産業費の新しいむらづくり整備事業補助金について説明を求めましたところ、農業振興研究会から提言があり、新しいむらづくり事業の中で農協に館山市の農林水産物を直売できる施設をつくろうとするもので、施設の内容は木造平家建てで約70平方メートルであるとの説明があ

りました。

次に、土木費について、道路用地購入費として 7,534万 5,000円が計上されていますけれども、従来市道の改良に当たっては寄附ということが前提であったと思うけれども、今回はこれを購入するということになっている。寄附と買収との区分、考え方について説明を求めました。市当局は、現在は道路改良計画にあるものについては買収をしている。ただし、地元から寄附をするから改良してほしいというような場合には寄附を受け入れているとの説明がありました。

以上が審査の概要であります。

採決の結果、付託を受けました議案第46号乃至議案第48号及び議案第50号についてはいずれも全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(福原 勤君) 日程第2、議案第51号平成3年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)を議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長(福原 勤君) ただいま議題となりました議案第51号は12月18日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより本案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長永井龍平君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長永井龍平君登壇)

◎文教民生委員会委員長(永井龍平君) ただいま議題となりました議案第51号平成3年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)にかかわる文教民生委員会における審査の経過及び結果につきまして御報告申し上げます。

去る12月18日開会の本会議におきまして本委員会に付託されました本議案につきまして、同日本会議終了後委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主な事項について申し上げます。

今回の補正については収納率向上対策事業として購入する自動車の関連経費であるとの説明がされておりますが、本年度の収納状況とあわせて今後どのように活用されていくのか説明を求めましたところ、収納率については前年度の第4期の納期限と比較すると0.39%の増となっている。自動車については、滞納者の状況を見ても、税額で30万円未満というのが約85%もあり、収納計画を立てて徴収を行っているところであるが、あくまでもくまなく足を運んで滞納者と接触を図ることが最大の効果があると考えてるので、有効に

活用を図っていききたいとの説明がありました。

関連して、近隣の市の収納状況についても説明を求めました。

採決の結果、付託を受けました議案第51号平成3年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきましては全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

本案についての委員長報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第3、議案第49号、議案第52号及び議案第53号の各議案を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（福原 勤君） ただいま議題となりました各議案は12月18日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長岩村勝弘君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長岩村勝弘君登壇）

◎建設経済委員会委員長（岩村勝弘君） ただいま議題となりました議案第49号、議案第52号及び議案第53号にかかわる建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月18日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、19日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第52号平成3年度館山市水道事業特別会計補正予算（第2号）であります。関連して拡張事業の認可手続は順調に進んでいるか説明を求めましたところ、1週間に1度ぐらい県、厚生省に出向き、認可申請のためのヒアリングを受けており、何とか今年度末までに認可を取りたいと考えているとの説明がありました。

さらに、認可前に配水管の布設工事を進めているが、工事箇所は市の重要な幹線道路でもあり、渋滞等心配されるので、工事の時期、方法等について十分検討されるよう要望いたしました。

次に、議案第53号平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第2号）であります。説明では応接員等の増員による補正であるとされておりますが、その内容について説明を求めましたところ、今回臨時職員2名の追加と半日雇用から1日雇用にした者が4名あったための補正であるとの説明がありました。

なお、利用率については11月末現在、前年と比較して2.2%の増、人員で311人上回っているとの説明がありました。

以上が主な質疑応答であります。

採決の結果、付託を受けました議案第49号、議案第52号及び議案第53号については全員一致をもちまして原案どおり可決すべきものと決しました。

以上で建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

継続審査について

◎議長（福原 勤君） 日程第4、継続審査についてお諮りいたします。

総務委員会に付託中の請願第3号ゆとり宣言に関する決議の請願書及び請願第4号朝鮮民主主義人民共和国との早期国交樹立促進方要望に関する請願書並びに文教民生委員会に付託中の請願第5号義務教育費国庫負担制度堅持に関する請願書及び請願第6号第6次定数改善計画の早期策定に関する請願

書について、各委員長から慎重審査の必要上、会議規則第 104 条の規定により閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

各請願を委員長からの申し出どおり閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、各請願は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長（福原 勤君） なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第 5、議案第 54 号乃至議案第 61 号の各議案を一括して議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 提案理由を御説明申し上げます。

議案第 54 号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第 55 号館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第 56 号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第 57 号館山市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本年 8 月の人事院勧告に基づく国家公務員の

給与改定及び10月の千葉県人事委員会の勧告に基づき、本市におきましても一般職員の給料、諸手当につきまして国及び県に準じその額を改正しようとするものでございます。また、あわせて市議会議員及び市長等の期末手当につきましても所要の措置を講じようとするものでございます。

次に、議案第58号平成3年度館山市一般会計補正予算（第6号）でありますが、歳入歳出それぞれ1億847万2,000円を追加し、総額142億9,410万3,000円としようとするものでございます。歳出の内容といたしましては各款における人件費の補正でございますが、これは給与改定等によるものでございます。これらの財源といたしまして、前年度繰越金の一般財源1億847万2,000円をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第59号平成3年度館山市ユースホステル特別会計補正予算（第1号）でありますが、給与改定等に伴う人件費で60万2,000円の追加をお願いするものでございます。

次に、議案第60号平成3年度館山市水道事業特別会計補正予算（第3号）でありますが、給与改定等に伴う人件費で、収益的支出におきまして389万2,000円、資本的支出におきまして45万1,000円の追加をお願いするものでございます。

次に、議案第61号平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第3号）でありますが、給与改定等に伴う人件費で、収益的支出におきまして378万1,000円の追加をお願いするものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。

神田守隆君。

◎21番（神田守隆君） 人事院あるいは県人事委員会の勧告に基づく給与等の引き上げだというふうに御説明がございましたが、この人事院あるいは

人事委員会の勧告は給与の引き上げとともに週休2日制の実施等についても早期に実施するように、こうした趣旨での勧告があったかというふうに理解しておるんですが、この勧告の内容について御説明をいただきたいと思うのであります。

次に、この週休2日制の問題について、来年度の早期に実施をするというようなことでありますけれども、新聞報道等によりますと、幼稚園、小学校、中学校、高校ですか、学校では9月から週休2日が一月1回ということですが、実施の方向ということで報道されて、それをめぐりましてその受け皿ということでいろいろな議論が新聞紙上等でもされて——反対、賛成ということで議論がされているわけですが、市役所が週休2日になるという問題にしましても、やはり解決しなければならない問題が市民生活の影響ということで多々あるのではないかなと思うわけであります。したがって、この実施の方法だとか、あるいは実施の時期ですとか、来年度の早期にと言っていますから、具体的な検討等がされているのではないかなと思うんですが、この辺についてどのように検討をしておるのかお聞かせをいただきたいと思っています。

その2点です。

◎議長（福原 勤君） 総務部長。

◎総務部長（二通英雄君） 人事院及び千葉県人事委員会の勧告の内容でございますけれども、人事院の方の内容は——週休2日制の勧告ですが、日曜及び土曜日を勤務を要しない日とする土曜閉庁方式による完全週休2日制を基本とし、交代制等職員については弾力的な運用が可能になるように措置する。それからもう一つは、平成4年度のできるだけ早い時期に実施するというのが人事院の勧告でございます。

千葉県人事委員会の方の勧告の内容でございますけれども、日曜日及び土曜日を勤務を要しない日とする土曜閉庁方式による完全週休2日制を基本とし、交代制等職員については弾力的な運用が可能になるよう措置する。もう一つ、国及び他の都道府県の状況を考慮してできるだけ速やかに実施する。夏季休暇を設けることが適当とするということでございます。

これを受けまして、館山市につきましても国、県の状況を考慮しながら今後検討してまいりたいというふうに考えております。

◎議長（福原 勤君） 神田守隆君。

◎21番（神田守隆君） 平成4年度の早い時期にという — 早い時期というのは4月の1日が一番早いわけで、3月では相当遅いということになる、常識的には。小学校、中学校が2学期の9月からという話が — それと合わせるのかなという気もするんですけども、あるいは早いという場合は — よく役所の場合には年度の前半と後半ということで、上期、下期とか、早いというと、少なくとも10月1日より前のことじゃないかなというふうに常識的には考えるんですけども、大体その時期の問題についてお考えがあるのか。まだそこまで検討はされていないなら検討されていないで結構でありますけれども、いかがでしょうか。

◎議長（福原 勤君） 総務部長。

◎総務部長（二通英雄君） 実施時期の問題でございますけども、国、県の動向あるいは県の各市町村の状況を考慮しながら検討しているということで、現在館山市としてはいつ実施するということでは決まっておりません。

◎21番（神田守隆君） 終わります。

◎議長（福原 勤君） 他に御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、各議案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論は一括して行います。

討論ありませんか。―― 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第6、議案第62号館山市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第62号館山市教育委員会委員の任命について提案理由を御説明申し上げます。

館山市教育委員会委員中、伊藤昌彦さんが平成3年12月25日をもって任期が満了いたしますので、引き続き伊藤さんを適任と考え、任命いたしたく存じます。

御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

教育委員会委員の任命について同意を求める件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、教育委員会委員の任命について同意を求める件はこれに同意することに決しました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第7、発議案第10号法務局職員の増員に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

日下君敏君。御登壇願います。

（18番議員日下君敏君登壇）

◎18番（日下君敏君） ただいま議題となりました発議案第10号法務局職員の増員に関する意見書について提案理由を御説明申し上げます。

本案につきましては、陳情審査結果のとおり総務委員会において了承できるものと決定されました陳情書の趣旨を関係機関に要望いたしたく、お手元に配付のとおり8名の賛成者をもちまして提出いたしました次第であります。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議

ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長(福原 勤君) これより討論を行います。

討論ありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長(福原 勤君) これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(福原 勤君) 日程第8、発議案第11号白内障人工水晶体(眼内レンズ)の健康保険適用に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(福原 勤君) 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長(福原 勤君) 議案の説明を求めます。

永井龍平君。御登壇願います。

(8番議員永井龍平君登壇)

◎8番(永井龍平君) ただいま議題となりました発議案第11号白内障人工

水晶体（眼内レンズ）の健康保険適用に関する意見書について提案理由を御説明申し上げます。

本案につきましては、陳情審査結果のとおり文教民生委員会において了承できるものと決定されました陳情書の趣旨を関係機関に要望いたしたく、お手元に配付のとおり8名の賛成者を得まして提出いたした次第であります。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明いたします。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

閉 会 午前10時55分

◎議長(福原 勤君) 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第4回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第46号乃至議案第62号
- 1 発議案第10号、発議案第11号
- 1 継続審査について(請願第3号乃至請願第6号)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会議員

館山市議会議員

